

# 看護職として働き続けるための キャリア発達支援

濱田正美<sup>†</sup>第76回国立病院総合医学会  
2022年10月7日 於 熊本

IRYO Vol.78 No. 1 (9-13) 2024

## 要旨

日本看護協会の調査データから、看護職の就業者数は、2019年1,683,000人余りで、この10年間で、約250,000人増えている。これは、社会全体において看護職の活動の場が広がるとともに、その役割に期待されているからである。看護職が、安全で安心できる看護を提供するためには、看護の基礎教育を終えライセンスを得てからも継続教育が必要である。看護における継続教育とは、看護の専門職として常に最善のケアを提供するために必要な知識、技術、態度の向上を促すための学習を支援することである。これは、看護職が自分の役割を果たしながら、自分らしい看護職としての成長を実現していくキャリア発達に繋がるものである。

九州大学病院では、専門職業人としての看護職のキャリア開発や生涯学習を支援し、地域全体の看護の質向上に貢献することを目的に、「看護キャリアセンター」を開設し7年目となる。この間、「基本的看護実践能力育成」、「看護実践能力定着・向上」、「臨床看護研究推進」、「地域貢献・社会貢献」を4つの柱とし、院内含め地域医療を支える看護職の育成に努めてきた。なかでも、主たる柱となる「看護実践能力定着・向上」においては、12分野70コースからなる院内教育研修プログラムを整備し実施してきた。さらに、ライフイベントを超えてキャリア発達するためには、働き方を考慮したキャリア支援を行い、働き続けられる魅力ある職場となる取り組みが重要である。

**キーワード** キャリア発達、継続教育、生涯学習

## はじめに

九州大学病院は、政令都市である福岡市の中心にあり、1,267床を有する特定機能病院である。高度先進医療を推進・実施し、地域における「最後の砦」としての期待と信頼を担って医療を提供している。2020年から続くコロナ禍においても同様で、高度先進医療を行うための機能を維持しつつ、地域の中核

病院として新型コロナウイルス感染症診療にも積極的に関わってきた。そのなかで看護部門は総数1,200余名からなる職員を抱える病院内で最大の集団である。より高度で専門的な医療を提供する大学病院において、一人ひとりが、豊かな人間性と高度な専門的知識や技術を持ち、患者が安全で安心できる医療・看護を提供できるよう継続教育に力を入れ、日々人材育成に努めている。

九州大学病院 看護部 †看護師

著者連絡先：濱田正美 九州大学病院 看護部 〒812-8582 福岡県福岡市東区馬出3丁目1番1号

e-mail : hamada.masami.137@m.kyushu-u.ac.jp

(2023年3月22日受付 2023年6月9日受理)

The Support of Career Development to Continue Working as Nursing Employment

Masami Hamada

Kyushu University Hospital

(Received Mar. 22, 2023, Accepted Jun. 9, 2023)

**Key Words** : career development, motivation, continuing education, lifetimelong learning